

去八日之御飛札拝見、如承意改年之御吉慶何方も珍重申納候、然^者竹嶋より材木御取被成度之段、則御老中様^江四郎五郎得御内意候處、両人之者勝手次第材木相取可然之由御意之旨御座候、就夫上方筋より剛者成もの耆人彼島^江遣之、山々様子見立させ可被成哉之由尤^ニ候、併御兩人より切米御出御やとい候てハ不苦候、各同意^ニしないなと^ニ御相談候て材木御取寄候ハ、以来竹嶋^江運上指上ケ渡海仕度なと、御公儀^江御訴詔申上義も可有之候、又^者材木取以後中ま出入杯出来、貴様方御兩人と公事之及沙汰、御公儀なとへ御出候之儀も可有之候、然上^者預ケ置御六ヶ敷と被思召、彼島被召上候儀も可有御座候不及申候得共、以来出入無之様^ニ御兩人にて剛者成もの御やとい切渡海可然存候、不可過御了簡候、右之段拙者より念比^ニ申越候様^ニと四郎五郎被申付候恐惶謹言

龜山庄左衛門

正月晦日

□□（花押）

村川市兵衛様

大屋九右衛門様

御報